

1 単元名 世界各地の人々の生活と環境

2 本単元の目標

- (1) 人々の生活は、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件から影響を受けたり、その場所の自然及び社会的条件に影響を与えたりすることを理解する。
- (2) 世界各地における人々の生活やその変容を基に、世界の人々の生活や環境の多様性ととともに、世界の主な宗教分布を理解する。
- (3) 世界各地における人々の生活の特色やその変容の理由を、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件などに着目して多面的・多角的に考察し、表現する。
- (4) 世界各地の人々の生活と環境について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとする態度を養う。

3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
- 人々の生活は、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件から影響を受けたり、その場所の自然及び社会的条件に影響を与えたりすることを理解している。 - 世界各地における人々の生活やその変容を基に、世界の人々の生活や環境の多様性ととともに、世界の主な宗教分布を理解している。	世界各地における人々の生活の特色やその変容の理由を、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件などに着目して多面的・多角的に考察し、表現している。	世界各地の人々の生活と環境について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。

4 単元について

(1) 教材観

本単元は、中学校学習指導要領の地理的分野の内容B世界の様々な地域(1)世界各地の人々の生活と環境の部分にあたる。場所や人間と自然環境との相互依存関係などに関わる視点に着目して、世界各地の人々の生活が営まれる場所の自然的条件と社会的条件を関連付けて多面的・多角的に考察し、表現する力を育成することを主なねらいとしている。学習を通して世界の人々の生活や環境の多様性、それらの相互依存関係を理解できるようにすることが求められている。その中でも自然的条件に特化するのではなく、社会的条件の違いも取り上げ、両者は相互に関係し合っていることに留意していく必要がある。また、同じ地域の過去と現在の生活を比較してその変化に着目することで、人々の生活が可変的なものあることに気づき、多様な文化を尊重する態度を身に付ける単元となっている。

(2) 生徒観

(第1学年*組*人) 令和4年*月*日(*人調べ)

単元にかかわる実態調査
①世界中には、どのような気候がありますか。(自由回答) 暖かい気候*人 寒い気候*人 1年中過ごしやすい気候*人 雪の多い気候*人 雨の多い気候*人 晴れる気候*人 乾いた気候*人 曇りの気候*人 嵐の気候*人 ②世界各地の人々の暮らしについて、どのようなことを学習したいですか。(自由記述) 文化*人 食べ物*人 暮らしの様子*人 日本との違いについて*人 暮らしの工夫*人 気候*人 観光地*人 歴史*人 国々について*人 言葉*人 お金*人 風習*人 学校の様子*人 ルール*人

本学級は、積極的に発表をする生徒や自分の考えを表現できる生徒が見られ、中にはノートやワークシートに重要な事象を自分の言葉でまとめる姿も見られる。しかし、多くの生徒は世界の国々の位置や名称について、理解が不十分なため、社会的事象の整理や自分の意見を発表することを苦手としている生徒もいる。授業については、4月から個人活動、ペア活動やグループ活動を継続して取り入れ、協働で学習することの良さや他者の考えを聞き自己の考えを深めることの大切さを感じている生徒がいる。また学びを進めていく過程で映像や写真、資料等の重要性を意識し、それらを通して地理的特色を捉え、学習を深めていこうとする生徒も見られる。

実態調査から気候に関しては、晴れ、雨の天気、暑い気候、寒い気候のように、気温や天候によ

る捉えがほとんどであった。また、世界各地の地域の人々がどのように生活しているのかについては、文化や食べ物、生活の様子、日本との違い、服装、住居などに興味をもち、学びを深めていきたいと考えている生徒が見られた。

(3) 指導観

本単元では、世界各地の人々の生活について、衣食住や宗教とのかかわりを中心に自然及び社会的条件と関連付けて考察し、世界の人々の生活や環境の多様性、それらの相互依存関係を理解できるようにする。まず、導入において人々の暮らしの違いを捉え、その違いの要因となるものを予想してウェビングシートにまとめる。生徒の自由な発想で、幅広い予想を記入させ、これを検証し追究していく単元の流れを意識させたい。次に、各時の追究場面では、生徒一人一人に役割をもたせ、協働して課題を解決できるようにジグソー学習を取り入れていく。学習の中にインプットとアウトプットの機会を設けることで、生徒のより能動的な学習を促したい。最後に、毎時間の振り返りにおいて、暮らしの違いにつながる新たな要因について考えウェビングシートに追記していく。自然的条件だけではなく社会的条件も暮らしの違いに関係することを気付けるようにするとともに、生徒が自己の学習の深まりを自覚し、より主体的な学習を進められるようにしていきたい。

5 単元の指導計画（9時間扱い）

○は指導に生かす評価場面、◎は記録に残す評価場面

次	時	学習内容・活動	知	技	思	態	評価方法・留意点等
1	1	課題 写真資料や雨温図を読み取り、世界各地の人々の暮らしを調べよう。 ・写真資料を基に、「屋根の形」「かべの材料」「木や葉の様子」「景色」について読み取れることを個人で捉え、グループで意見を交流する。 単元の学習課題 世界各地の人々の暮らしはどうして違うのか。その謎を調査しよう。 ・暮らしの違いの要因を予想し、ウェビングシートに記入する。	○				技：雨温図や写真資料の読み取りが進まない生徒には、それぞれの資料から分かることを、箇条書きで書くように助言する。 【観察・ワークシート】 ◎ 態：単元の学習課題について予想を立てられない生徒には、ウェビングシートを参考にするように助言する。 【振り返りシート】
2	2	課題 常夏の島に住んでいる人々はどのように生活しているのか。 ・サモアに住んでいる人々の生活を取り上げて「現在の暮らし」と「過去の暮らし」を比較し、生活の工夫と変化を読み取る。 まとめ 常夏の島に住んでいる人々は、気候や自然環境を生かして暮らしていた。しかし、美しい海を目当てに観光客も増え、観光業で生計を立てるなど、外国の生活様式の影響で生活が変化している。			○		思：生活の工夫や変化を考察できない生徒には、「衣食住」の視点と「時間の経過」の視点を示し、自然的条件と社会的条件を関連付けて考察できるようにする。 【観察・ワークシート】
3	本時	目標：イヌイットの暮らしについて、寒帯の自然的条件と社会的条件を関連付けて考察し、表現することができる。 1 本時で学習する地域の特色を確認する。 ・イカルイトの雨温図 ・昔のイヌイットの写真					・雨温図で地域の気候の特色を確認するとともに、イヌイットについての簡単な情報を示す。 ・現在のイヌイットの写真を示して、寒さと服装の矛盾や時代と食べ物の矛盾から、生徒の思考を揺さぶる。

	2 学習課題を確認し、課題に対する予想を考える。 課題 イヌイットはなぜ生肉を食べ続けてきたのか。また、これからも食べ続けていくのだろうか。 3 グループ内で追究する役割を分担し、個人で担当の内容を調べ、付箋に記入する。 ＜配付資料＞ ・昔のイヌイットの生活 ・今のイヌイットの生活 4 調べた内容について、グループ内で共有しグループ内の意見をまとめる。 5 課題に対する自分の考えをまとめる。 まとめ 生肉を食べる理由 食べ続ける 食べ続けない  判断の理由 6 本時の学習を振り返り、次時の学習内容を確認する。	○ ◎		・イヌイットの食生活がこれから変わるかどうかの予想は、メーターに示し、理由も記述できるようにする。 知：特色が見つけれられない生徒には、自分たちの生活や他地域の生活と比べることで特色を見つけ出すよう助言する。 【ワークシート】 ・記入した付箋を示しながら、調査した内容をグループ内で共有し、イヌイットの今後の食生活について、グループの意見をまとめるようにする。 ・「予想」「グループの意見」「まとめ」を同じ形式のワークシートにして、生徒が記入しやすくする。 思：イヌイットの生活について、自然的条件や社会的条件を関連付けながら、自分の考えを表現している。 【ワークシート、発表】 ・文化の多様性に触れている生徒の意見を紹介する。 ・ウェビングシートに暮らしの違いの要因を追記し、本時の活動を振り返る。
4	課題 夏と冬の気温差が激しい地域に住んでいる人々はどのように生活しているのか。 ・シベリアに住む人々の生活について、温暖な季節と寒い季節に分けて調べ、個人、グループ、全体の順で意見を共有する。 まとめ シベリアに住む人々は、住居に丸太を用いたり、窓を二重にしたりと寒さに対応している。	○		知：生活の工夫や違いを読み取れない生徒には「衣食住」の視点を示し、人々が何を着て、何を食べて、どのような所で生活しているのかを読み取るように助言する。 【観察・ワークシート】
5	課題 イタリアの人々はどのように生活しているのか。日本と比較しながら調べよう。 ・イタリアで生活している人々の生活について、「伝統的な暮らし」と「現在の暮らし」に分け、日本と比較しながら調べ、個人、グループ、全体の順で共有する。 まとめ イタリアは日本とは異なり、夏の乾燥した気候を生かし、ぶどうやオリーブ、トマトなどが栽培され、イタリアの食文化にも生かされている。	○		思：イタリアと日本の暮らしについて比較できない生徒には、衣食住の視点を示し、違いや同じところに気付けるよう助言する。 【ワークシート・発表】

3	6	課題 乾燥した地域で人々はどのように生活しているのか。 ・「衣」「食」「住」「変化」の4つの担当に分け、個人で調べ、グループ、全体で共有し、自分の考えをまとめる。 まとめ 乾燥した地域に住む人々は、風通しの良い服装で遊牧を行っていたが、最近では砂漠化が進み、人口増加や地球温暖化などとの問題も見られる。	○			知：特色が見つけれられない生徒には、自分たちの生活や他地域の生活と比べることで特色を見つけ出すよう助言する。 【ワークシート】
	7	課題 クスコは日本よりも赤道に近いのに、なぜ長袖で暮らすのだろう。 ・「衣」「食」「住」「変化」の4つの担当に分け、個人で調べ、グループ、全体で共有し、自分の考えをまとめる。 まとめ 標高が高いクスコは緯度のわりに気温が低く、標高に応じた作物を育てたり、家畜を飼育したりと土地利用を工夫して暮らしている。	○			思：標高の高さに着目して考察できていない生徒には、土地の利用に関する資料を基に、暮らし方に差があることに気付けるように助言する。 【ワークシート】
	8	課題 宗教は、人々の生活とどのように結び付いているのか。 ・宗教の分布図を読み取り、大まかな区分を捉えさせ、三大宗教の特色を個人で調べ、全体で共有する。 まとめ 宗教によって食文化や生活様式に違いが見られる。また宗教上の対立や争いが起こる場合がある。	◎			知：世界の宗教分布を捉え、それぞれの宗教の特色を触れながら、まとめようとしている。 【ワークシート】
	9	単元の学習課題 世界各地の人々の暮らしはどうして違うのか。これまでの学習を基に自分の考えをまとめよう。 ・これまでの学習から世界の気候区分について確認し、人々の暮らしはどうして違うのかを考えて全体で共有する。 まとめ 世界各地の人々は気温や降水量の違いからそれぞれに合った様式で生活している。また、新しい様式が入ったり、時代の変化が見られたりと伝統的な生活から変化している。	◎	◎		思：各気候区分の特色について、自然的条件や社会的条件によって人々の生活が成立し、変化していることを理解している。 【ワークシート】 ◎ 態：世界各地の人々の暮らしについて、それぞれの生活様式や文化の違いをこれまでの学習から追究し、考えをまとめようとしている。 【ワークシート】